

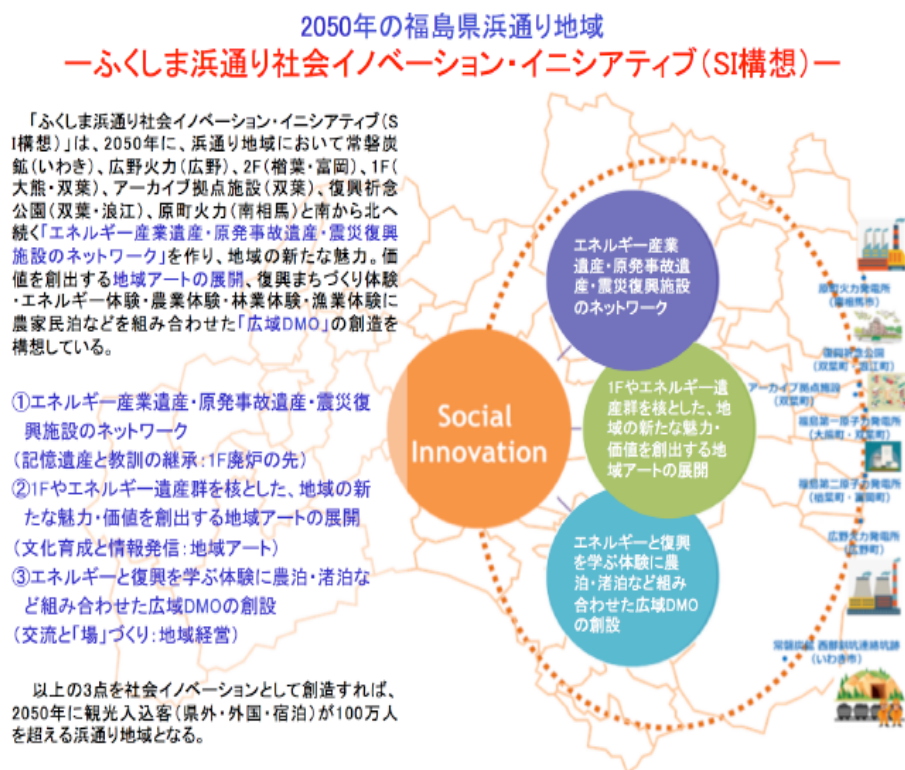
「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(SI 構想)」について

1. 「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(旧 SI 構想)」の3つの柱と新「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(新 SI 構想)」の新たな3本柱の提案

2019年1月27日、福島県楡葉町みんなの交流館ならは CANvas で開催した第3回ふくしま学(楽)会において提案した「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(旧 SI 構想)」の3つの柱は、以下の3点であった。

- ① 1Fの事故遺産・記憶遺産としての利活用(1Fヘリテージ構想): 1F廃炉の先研究会
- ② 地域アートの展開による地域の新たな魅力や価値創造: 文化育成WG
- ③ 交流人口の拡大と地域循環のための広域地域経営組織(広域DMO)の形成

ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(SI構想)



その後のふくしま広野リサーチセンターの様々な場における議論から、第2の柱の「地域アートの展開による新たな地域の魅力や価値の創造」と第3の柱の「交流人口の拡大と地域循環のための広域DMOなどの広域地域経営組織の形成」とは、きわめて密接に関連しており、一つにまとめることが合理的であると判断した。

したがって、新しい第2の柱は、「地域アートなどの展開による新たな地域の魅力や価値の創造による、交流人口の拡大と地域循環のための広域地域経営制度の形成」とする。

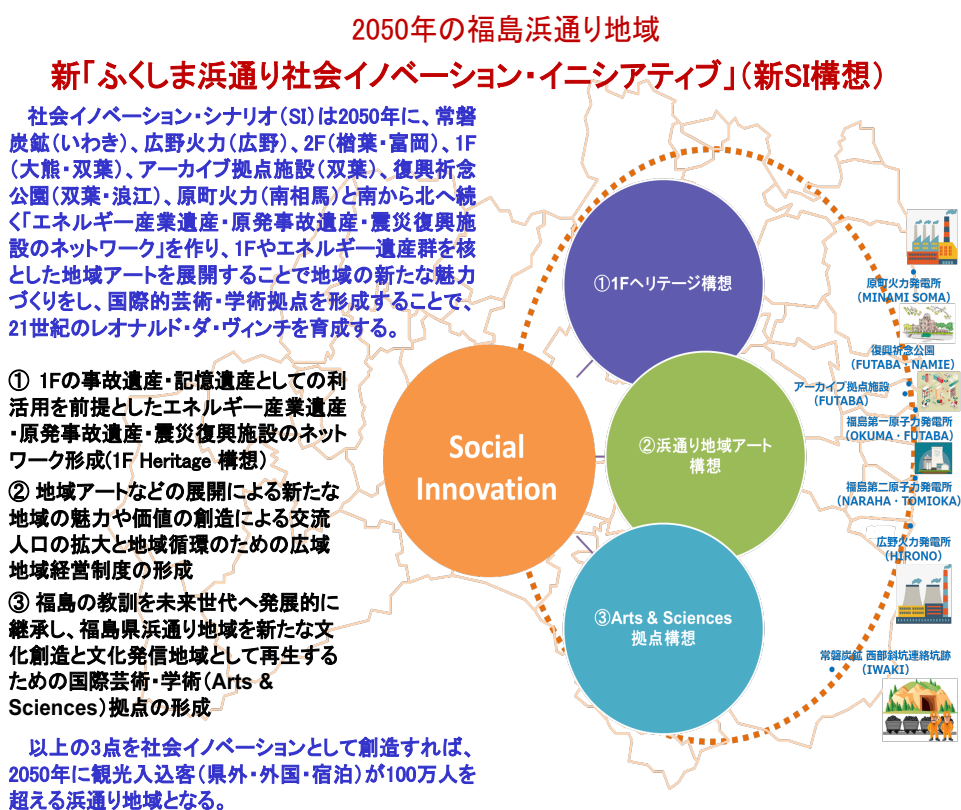
新たな第3の柱の国際芸術・学術(Arts & Sciences)拠点構想は、20世紀の巨大科学技術システムである福島第一原子力発電所(1971年、商業発電の開始と東京圏への送電開始)のレベル7の過酷事故の教訓を未来世代へ継承するためには、科学技術の価値を正しく踏まえつつ、要素還元による先端化(piecemeal engineering)により全体性を喪失した科学技術の弊害を克服

し、人や生命の多様性に価値を見出し、人や生命の全体性をまるごと表現する芸術（Arts）との協働関係の再構築が必要であると考えて提案したものです。

20 世紀の科学技術の限界を突破し、新たな 21 世紀のアート（Arts）と学術（Sciences）との協働関係の再構築の場（拠点）としては、福島原発事故の被災地である福島県浜通り地域が、世界の中で最もふさわしい場（空間）であると考えられます。1F を抱える福島県浜通り地域の景観に、21 世紀から 22 世紀へと継承される Arts & Sciences の国際的殿堂（拠点）を構築し、言わば 21 世紀のレオナルド・ダ・ヴィンチ的人材の育成を行うことこそ、福島原発事故の教訓を踏まえた日本社会から人類社会への知的貢献になると考えます。

再定義した「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ（新 SI 構想）」は、以下の 3 本柱から構成される。

- ① 1F の事故遺産・記憶遺産としての利活用（1F ヘリテージ構想）：1F 廃炉の先研究会
- ② 地域アートなどの展開による新たな地域の魅力や価値の創造による交流人口の拡大と地域経済循環形成のための広域地域経営制度の創造：文化育成 WG
- ③ 福島の教訓を未来世代へ発展的に継承し、福島県浜通り地域を新たな文化創造と文化発信の地域として再生するための国際芸術・学術（Arts & Sciences）拠点の形成



2. 新 SI 構想の第 3 の柱「ふくしま浜通り国際芸術・学術(Arts & Sciences)拠点」の形成構想

サイエンス（サステナビリティとレジリエンスに関わる学術研究）とアート（文化芸術と工芸・デザイン）を結び、新たなカルチャー（文化）を創り出し、災害に強く、持続可能な地域社会の形成のための人材育成（21 世紀のレオナルド・ダ・ヴィンチの育成）を担う国際的な芸術（Arts）と学術（Sciences）の研究教育（Arts & Sciences）拠点の形成を、福島県浜通り地域において構想する。

なお、ここでのいう国際芸術・学術（Arts & Sciences）拠点とは、20 世紀的な Growth Pole（成長の極）論のような一拠点ではなく、Polycentric な多極的なネットワークを考えることが適当であろう。

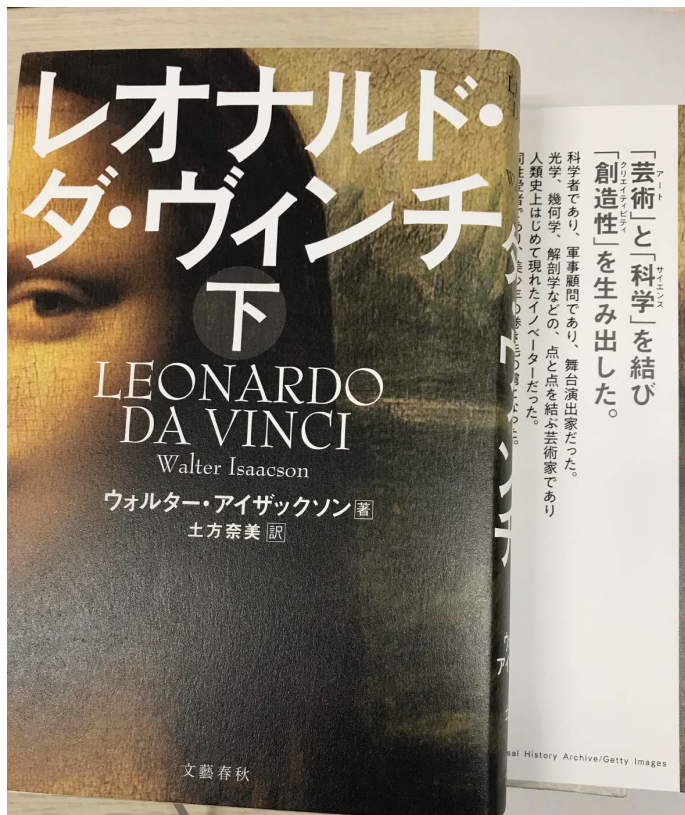
Arts + Sciences → Culture
 Sciences: Sustainability x Resilience
 Sciences x Arts: Sciences & Technology X Design → New Knowledge Creation → Innovation
 Sciences x Arts: Education → Culture, Well-being, Quality of Life
 Diversity x Arts → Cultural Diversity
 Diversity x Sciences & Technology → New Knowledge Creation → Innovation



レオナルド・ダ・ヴィンチ
 自画像？（1512 年頃）



ウィトルウィウスの人体図
 （1490 年頃）



ウォルター・アザックソン『レオナルド・ダ・ヴィンチ（上・下）』文藝春秋社